

# 音楽科学習指導案

日 時 令和6年2月15日(木)  
 6校時 14:20～15:05  
 学校名 文京区立青柳小学校  
 対 象 第4学年2組 26名  
 会 場 4階 音楽室  
 授業者 指導教諭 金田 美奈子

1 題材名 日本楽器の音色やせんりつのうつり変わりを感じ取ってきこう  
 (小学生の音楽4：教育芸術社)

## 2 題材の目標

- (1) 曲想及びその変化と、楽器の音色や旋律、変化との関わりについて気付くとともに、範奏を聴いたり、糸譜を見たりしながら箏を演奏する技能を身に付ける。
- (2) 音色や旋律、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
- (3) 日本楽器の音色や旋律、変奏曲のよさについて考える学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習活動に取り組もうとする。

## 3 指導事項との関連

A 器楽(2) ア イ(イ) ウ(イ)

B 鑑賞(1) ア イ〔共通事項〕(1)ア

(本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：  
 「音色」「旋律」「変化」)

## 4 題材の評価規準

知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p><b>知技</b> 曲想及びその変化と、楽器の音色や旋律、変化との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、糸譜を見たりしながら箏を演奏する技能を身に付けている。</p> <p><b>知</b> 曲想及びその変化と、楽器の音色や旋律、変化との関わりについて気付いている。</p>	<p><b>思</b> 音色や旋律、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。</p> <p><b>思</b> 音色や旋律、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いている。</p>	<p><b>態</b> 日本楽器の音色や旋律、変奏曲のよさについて考える学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>

## 5 題材設定の理由

本題材では、箏の音色について実際の音を通して知覚・感受することができるようにするために、箏で「さくら さくら」を演奏したり様々な奏法を試したりする場を設定する。また、4月に歌った「さくらさくら」の主題が、奏法や旋律の変化によってどのように移り変わっていくのかを楽しみながら聴くことができるよう、「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」（藤井凡大作曲）を教材として取り上げる。このような学習を通して我が国の楽器を使った変奏曲に親しみ、曲全体を味わいながら聴く力を育成していきたいと考え、本題材を設定した。

## 6 教材について

「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」（藤井凡大作曲）

「さくら」を主題として6つの変奏と後奏で構成されている。押し手や合わせ爪や割り爪、後押しなど江戸時代からの奏法に加えて、ピッチカートやグリッサンドなど明治時代以降に西洋音楽の影響を受けて演奏されるようになった奏法が用いられている。

全曲を鑑賞すると5分30秒ほどかかるため、本題材の教材としては、主題、第1変奏、第4変奏、第5変奏、第6変奏、後奏を取り扱う。

「さくら さくら」（日本古謡）

伝統的な日本の歌曲。日本古謡と表記される場合が多いが、幕末に江戸で子供用の箏の手ほどき曲として作られたものである。1888年（明治21年）に文部省音楽取調掛が編集し、発行された東京音楽学校の「箏曲集」に記載がある。

「津軽じょんから節」「ていんさぐぬ花」

「津軽じょんから節」は、津軽三味線で演奏される津軽三大民謡のひとつである。「ていんさぐぬ花」は、三線で演奏される沖縄県と鹿児島県奄美地方に伝わる民謡である。

本題材では、箏、津軽三味線、三線の音色や奏法の違いについて学習する場面で使用する。

## 7 題材の指導計画と評価計画(全5時間)

時	目標	○ 学習内容 ・ 学習活動	評価 (評価方法)		
			知・技	思	態
第1時	曲想及びその変化と、楽器の音色や旋律、変化との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、糸譜を見たりしながら箏を演奏する技能を身に付ける。	○箏、津軽三味線、三線の奏法と音色の知覚・感受 ・箏、津軽三味線、三線の演奏を聴いて、楽器の音色について気付いたことや感じたことを友達と共有する。 ・映像を見ながら聴き、奏法や演奏している時に使っている撥や爪について知る。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な技能の習得 ・3人組で箏を演奏し、音色を確かめる。 ・箏で「さくらさくら」の冒頭部分を演奏する。	知技 (発言) (演奏) (記述)		態 (発言) (演奏) (記述)
第2時	音色や旋律、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	○思いや意図に合った表現の工夫 ・曲想に合った音色になるように工夫しながら、「さくらさくら」の冒頭部分の旋律を箏で演奏する。 ・様々な奏法を試し、友達と共有する。 ・箏の音色や旋律について聴き取ったことや感じ取ったことをまとめる。 ○旋律の知覚・感受 ・「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」の主題を聴く。		思 (発言) (演奏) (記述)	態 (発言) (演奏) (記述)
第3時 (本時)	曲想及びその変化と、箏の音色や旋律、変化との関わりについて気付く。	○箏の音色や旋律、変化の知覚・感受 ・主題がどのように変化していくのかに気を付けて、「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」の主題、第1変	知 (発言) (演奏) (記述)		態 (発言) (演奏) (記述)

		<p>奏、第4変奏、第5変奏、第6変奏を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に箏で音を出して確かめながら、曲想の変化と奏法による音色の変化や旋律の変化との関わりについて、友達と考えを交流する。</li> <li>・友達との交流を踏まえて、もう一度「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」の主題、第1変奏、第4変奏、第5変奏、第6変奏を聴く。</li> </ul>			
第4時	<p>音色や旋律、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴く。</p>	<p>○箏の音色や旋律、変化と曲想との関わりへの気づき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の音色や旋律の特徴を味わいながら「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」の主題、第1変奏、第4変奏、第5変奏、第6変奏を聴く。</li> <li>・曲想の変化と奏法による音色の変化や旋律の変化との関わりについて、主題と各変奏ごとにまとめる。</li> </ul>		<p>思 (発言) (記述)</p>	<p>態 (発言) (記述)</p>
第5時	<p>音色や旋律、変化と曲想との関わりについて、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○楽曲の批評</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箏の奏法による音色の変化や旋律の変化について触れながら、担任に向けた紹介文を書く。</li> </ul>			<p>態 (発言) (記述)</p>

## 8 本時(全5時間中の第3時)

### (1) 本時の目標

曲想及びその変化と、箏の音色や旋律、変化との関わりについて気付く。

### (2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	☆ 指導上の留意点 配慮事項	□評価 (評価方法)
導入 5分	・「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」の主題を聴く。		
展開 35分	<p>○本時のめあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     主題のせんりつが、どのように変化しているのかを感じ取ろう。                 </div> <p>○箏の音色や旋律、変化の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題がどのように変化していくのかに気を付けて、「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」の主題、第1変奏、第4変奏、第5変奏、第6変奏を聴く。</li> <li>・聴き取ったことを全体で共有する。</li> <li>・映像を見ながら「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」の主題、第1変奏、第4変奏、第5変奏、第6変奏、後奏を聴き、奏法について確かめながら聴く。</li> <li>・学習カードに聴き取ったことや感じ取ったことをメモする。</li> <li>・実際に箏で音を出して確かめながら、曲想の変化と奏法による音色の変化や旋律の変化との関わりについて、友達と考えを交流する。</li> <li>・友達との交流を踏まえて、もう一度「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』」の主題、第1変奏、第4変奏、第5変奏、第6変奏を聴く。</li> </ul>	<p>☆どの変奏を聴いているのか分かるような掲示の工夫をする。</p> <p>☆変奏の番号を数字で表しながら聴くよう指示をする。</p> <p>☆前時に試した奏法を思い出しながら考えを出すよう助言する。</p> <p>☆必要に応じて学習カードにメモをしてよいこととする。</p> <p>☆箏は奏法によって様々な音色が出ることや旋律の変化に気付くことができるよう、箏で実際に演奏しながら、知覚・感受したことを友達と共有するよう指示をする。</p> <p>☆必要に応じてタブレットで音源を聴いてよいこととする。</p>	<p><b>態</b> 日本の楽器の音色や旋律、変奏曲のよさについて考える学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (発言、演奏、記述)</p> <p><b>知</b> 曲想及びその変化と楽器の音色や旋律、変化との関わりについて気付いている。 (発言、演奏、記述)</p>
まとめ 5分	<p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題の旋律が、どのように変化しているのかに注目して聴いた経験を踏まえて、この時間に自分が考えたことをまとめる。</li> </ul>		